

		S	A	B	C	D
1	子どもの育ちと学びをめぐる諸問題を説明することができる(B)	子どもの育ちや学びに関連する複雑な問題について深い理解を示し、現代の教育問題や関連する理論を適切に引用し、考察することができる。	子どもの育ちや学びに関連する主要な問題について適切な理解を示し、現代の教育問題や関連する理論を一部引用し、説明できる。	子どもの育ちや学びに関連する基本的な問題について理解を示し、現代の教育問題や関連する事例を挙げて説明できる。	子どもの育ちや学びに関連する問題について一部理解を示すが、説明が不完全である。	子どもの育ちや学びに関連する問題に関する理解が乏しく、関連する事実や例が挙げられない。
2	子どもの育ちを支援する場と実際の環境について説明することができる(B)	実際の環境での保育や教育活動の具体的な例を挙げ、洞察に富んだ考察を展開する。	実際の環境での保育や教育活動の一般的な特徴を述べ、説明を裏付ける。	実際の環境での保育や教育活動の特徴を述べることができる。	実際の環境での保育や教育活動に関する説明があいまいである。	実際の環境での保育や教育活動に関する説明が難しい。
3	幼児教育者になるために必要な記録の読み取りができる(C1)	記録から情報を的確に抽出し、正確に読み取ることができる。	記録から必要な情報を抽出し、主要な情報を読み取ることができる。	記録から必要な情報を一部抽出し、基本的な情報を読み取ることができる。	記録から必要な情報を抽出する能力が不足しており、情報を読み取ることが難しい。	記録から情報を抽出することができず、情報の読み取りが困難である。
3	子どもの姿を客観的事実として記録でき、意見を述べるることができる(C1)	子どもの観察や評価を客観的に行い、事実に基づいて記録する能力を示し、記録した事実に基づいて的確な分析や意見を述べ、洞察に富んだ議論ができる。	子どもの観察や評価を客観的に行い、事実に基づいて記録する能力を示し、記録した事実に基づいて適切な分析や意見を述べ、説明を裏付けることができる。	子どもの観察や評価を一部客観的に行い、一部事実に基づいて記録する能力を示し、記録した事実に基づいて一般的な意見を述べる。	子どもの観察や評価に客観性が欠けており、記録が不完全であり、考察に具体性が無い。	子どもの観察や評価が十分に行われず、記録が不明瞭であり、考察や意見がほとんどない。